

みなさんの利用^{やお}がYAOバス・802バスを支えます！

YAOバス 運 行 報 告

(期間：H23.10.1～H24.9.30)

走行距離 (km)	利用者数 (人)	運行経費 (千円)	運賃収入 (千円)	欠損額 (千円)
155,452.4	88,077	49,433	18,003	31,430

○ 1日当たりの利用者は約240人

年間利用者は88,077人。1日当たり240人が利用し、昨年より12人増となりました。

○ 収支結果は約31,430千円の「赤字欠損」

運行経費から運賃収入を差し引いた額は31,430千円。

この額を1市2町で定める割合で負担しました。

赤字負担割合

八百津町 (69.9%)	21,969千円
可児市 (23.8%)	7,481千円
御嵩町 (6.3%)	1,980千円
1市2町 (100%)	31,430千円

802バス 運 行 報 告

(期間：H23.10.1～H24.9.30)

走行距離 (km)	利用者数 (人)	運行経費 (千円)	運賃収入 (千円)	欠損額 (千円)
145,635.1	21,130	38,213	6,519	31,694

○ 1日当たりの利用者は約57人

年間利用者は21,130人。1日当たり57人が利用し、昨年より3人少なくなりました。この中には、小中学生の通学に利用している児童生徒も含まれています。

○ 31,694千円の赤字を町が負担

運行経費から運賃収入を差し引いた額は31,694千円。この額を町が負担しました。

車に乗れるうちにバスに乗ろう。

「YAOバス」、「コミュニティバス802」のどちらも、赤字運行となっていますが、車を運転できない高齢者や学生の大切な移動手段となっています。今後ますます少子高齢化が進む中、学生は減りますが、それ以上に高齢者は増え、バスの利用者も増えるはずです。

車は、好きな時に好きな所へ移動できるととても便利な乗り物です。「車に乗れなくなったらバスを利用する」とよく聞きますが、本当にそうでしょうか。車に乗れなくなったらバスにも乗れなくなるのではないのでしょうか。活動的な高齢者の増加、免許保有者の増加、免許返納できない交通環境などにより、いくら高齢者が多くなってもバスの利用が増加するとは限りません。車に乗ることをやめた年齢と生活の満足度は、車をやめる前から少しずつバスを利用した場合は生活の満足度は緩やかに低くなりますが、車に乗れるだけ乗りバスを利用できなくなった場合は急激に落ち込み、外出できなくなると予想されます。バス停まで歩き、バスに乗り降りし、バス停から目的地まで歩く、バスの時刻に合わせて行動計画を立てるなどバスを利用することによる健康増進や一緒に乗った人と交流するなど多くの便益性が生まれます。車に乗れなくなったらバスに乗るのではなく、車に乗れるうちにバスに乗ることで、将来的にも豊かで安心感のある生活ができるものではないでしょうか。まずは10回に1回バスを利用するなど、早めにバスの利用をはじめましょう。

平成26年4月に大幅な運行見直しを行う予定です。みなさんが使いやすいバスの運行ができるようにみなさんと一緒に考えましょう。